

# ○ 経営目標設定の考え方

(公財) 大阪府保健医療財団

資料1

## ミッション

- 精度管理センター機能の発揮
  - ・民間がん検診機関の技術水準の評価・指導
  - ・市町村等の実施するがん検診、特定健診等に対する技術支援
- 公益財団法人として自立化
  - 中小企業に働きかけ、がん・特定健診を実施して受診率の向上と収益の向上につなげる。
- 中河内救命救急センターの円滑な運営
  - 重篤な救命救急患者の円滑な受け入れに努めるとともに、救急医療に関する教育・研修を受け持つ。

## 対応方針

- 1 大阪がん循環器病予防センターの運営
  - ・自ら精度の高いがん検診を実施するとともに、市町村の検診データ等を分析・評価し、受診率の向上と検診機関等の技術水準向上を支援する。
  - ・特定健診データ等の分析による地域の健康課題の把握と、行動変容プログラムの実践指導等により健康指標の改善と医療費の適正化を推進する。
- 2 自立化を目指した公益財団法人の経営
  - 検診機関不足地域での効率的な車検診の実施と、がん検診と循環器健診をセットした総合健診を実施し、総合的で実践的な保健指導技法を開発することにより、受診者の拡大を図り、安定的な収益構造を作り上げる。
- 3 中河内救命救急センターの円滑な運営
  - 受け入れ患者数の拡大、平均在院日数の短縮、救急医療担当者の研修など、地域の救命医療に寄与しながらも、経営感覚を持った運営に努める。

## 戦略目標【参考：中期経営計画の目標値】

- ① 市町村等の要望に応え検診車の効率的な稼働と精度の高い検診を実施する。
  - ・乳がん検診受診者数  
[21,390人 (H23実績) →27,000人 (H28)]
  - ・精検受診率  
[82.8% (H23実績) →90.0%(H28)]
  - ・検診車の稼働率  
[66.6% (H23実績) →75.0%(H28)]
- ② 受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る。
  - ・がん検診等受診者満足度  
[86.3% (H23実績) →91.0%]
  - ・総合健診受診者の増  
[7,503人 (H23実績) →12,000人 (H28)]
  - ・大阪がん循環器病予防センター (旧大阪がん予防検診センター) の正味財産増
- ③ 重症救急患者に即応できる体制の確保
  - ・中河内救命救急センター平均在院日数  
[12.6日 (H23実績) →12.0日 (H25目標)]
- ④ 経営感覚を持ったセンターの運営
  - ・中河内救命救急センター医療材料費比率  
[34.8% (H23実績) →37.0% (H25目標)]

中期経営計画に基づく基本方針(目標設定の考え方)

中期経営計画の概要

<p>中期ビジョン (法人が目指す中期の到達点)</p>	<p>○精度の高い検診機関(府民をがんから守る。) 府内におけるがん検診の技術水準の向上を図り、がんによる死亡率の減少を目指す。 ○分析・研究機能の発揮(府民の健康づくりを支援) 府民の健康づくりと医療費の適正化を目指す。 ○法人経営の自立化(平成29年度の単年度赤字化) 平成28年4月の公益財団法人への移行と補助金に頼らない収支構造の改善による法人経営の自立化を目指す。</p>	<p>中期経営計画名称 (計画期間) 公表先URL</p>	<p>中期経営計画 (平成24年度～平成28年度)</p>
----------------------------------	---	---------------------------------------	-----------------------------------

戦略	成果測定指標	単位	最終年度の到達目標	目標達成のための活動事項
がん予防検診部門Ⅰ 検診者の更なる適切に応える体制づくり	がん検診受診者満足度	%	91.0	CS(利用者満足度)調査の結果を分析し、マニュアルを作成の上、市民の検診体験を改善し、必要、検診等に付する十分な情報により、安心して受診できる体制を構築する。 ・検診センターコンシェルジュを引き続き配置し、受診者への説明、案内を行う。
がん予防検診部門Ⅱ 検診期における検診車の稼働率の向上	検診車の稼働率 (稼働期間/稼働可能日数)	%	75.0	稼働期間システム稼働のための市町村検診会場の確保を図るなど、稼働率を向上する。 ・下年、検診車の稼働率を早期から把握し、検診車の効率的な運用に努める。
がん予防検診部門Ⅲ 女性医師の確保による乳がん検診の受診者増	乳がん検診受診者数	人	27,000	大学卒業・医師の人材を確保した上、ホームページの活用等あらゆる手段を講じ、女性医師の確保を図る。 ・また、必要、業務における検診の受診者、検診者の利便性の向上を図る。
がん予防検診部門Ⅳ 総合効果を高大確保した総合検診受診者の増	総合検診受診者の増	人	12,000	トップが直接、市町村、企業等に訪問し、営業活動を行うことにより新たな受診者の確保を図る。
がん予防検診部門Ⅴ 情報型検診システムを活用したがん検診受診者の向上と、精度管理の向上を図る。	情報受診率(年度実績) (がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がんの合計) (情報受診者/検診受診者数)	%	80.0	・電子検診環境として、全ての検診検査受診者に対し情報型検診により検診検閲を行う。 ・また、市民向けにわかりやすい、検診結果の通知、必要検査一覧表及び検診履歴でユウメルマガを配信し、検診受診者の受診率を向上させる。
がん予防検診部門Ⅵ 情報型検診システムの導入を促進し、市町村及び検診機関の精度管理をチェックできる仕組みを構築する。	精度管理の推進	-	-	・市町村の個人別検診データ等を収集し、分析・評価の上、公表する。 ・また、必要、市町村に改善の要請を行う。 ・府民向け・事業者向けによる検診結果に関する情報の提供を促進する。 ・検診の結果情報に付し、府民検診等の協力の下に実施する検診検閲検査等を通じて、検診水準の向上を図る。
がん予防検診部門Ⅶ 市町村(保健センター)の予防対策に役立つ検診手法、保健指導プログラム、検診スタイルの開発を図るとともに、特定保健指導の対象とならないハイリスク層の特定率を向上させる。	地域の健康課題の明確化	-	-	・市町村の特定保健指導実施状況の把握を行う。 ・特定保健指導の実施効果を検証する。また、特定保健指導の実施状況を把握し、必要、市町村に改善の要請を行う。
がん予防検診部門Ⅷ 行動変容プログラムの策定・実践支援	行動変容プログラムの策定・実践支援	-	-	【H25年度～H28年度】 ・市町村(保健センター)の検診会場の確保 ・行動変容プログラムの作成(指導・助言) ・市町村への提供体制 ・検診結果や検診履歴データ等による市民の健康状態・分析・評価 ・行動変容プログラムの策定・実施 ・検診結果や検診履歴データ等による市民の健康状態・分析・評価 ・検診結果や検診履歴データ等による市民の健康状態・分析・評価
がん予防検診部門Ⅸ 市町村(保健センター)の予防対策に役立つ検診手法、保健指導プログラム、検診スタイルの開発を図るとともに、特定保健指導の対象とならないハイリスク層の特定率を向上させる。	ハイリスク層の特定率	-	-	・モデル地域・地域での検診結果及び検診結果から得られるデータにより、検診結果、検診結果の把握状況調査を行う。
法人経営 精度に頼らない収支構造の改善により経営の安定化を図り、平成29年度からの赤字化と自立化を目指す。	大阪がん検診センターの正味対産増減額	百万円	0	○収益性向上のための取組み ・業務の拡大(1)検診センター(CT)を稼働(2)検診センターの稼働率の向上(3)検診センターの稼働率の向上(4)検診センターの稼働率の向上(5)検診センターの稼働率の向上 ・検診結果の拡大(1)検診センター(CT)を稼働(2)検診センターの稼働率の向上(3)検診センターの稼働率の向上(4)検診センターの稼働率の向上(5)検診センターの稼働率の向上 ・検診結果の拡大(1)検診センター(CT)を稼働(2)検診センターの稼働率の向上(3)検診センターの稼働率の向上(4)検診センターの稼働率の向上(5)検診センターの稼働率の向上 ・検診結果の拡大(1)検診センター(CT)を稼働(2)検診センターの稼働率の向上(3)検診センターの稼働率の向上(4)検診センターの稼働率の向上(5)検診センターの稼働率の向上

(参考)H25経営目標

I. CS(利用者満足度)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略	成果測定指標	単位	H25目標値	中期計画H25目標値	H25目標値設定の考え方 (数値の根拠)
大阪がん検診センター ①市町村等の更なる適切な検診体制の構築と精度の高い検診を実施する。	乳がん検診受診者数	人	22,400	25,500	女性医師を確保できなかったため、目標値を下方修正した。
心受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る。	検診受診率(年度実績) (がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がんの合計) (情報受診者/検診受診者数)	%	87.0	87.0	中期経営計画のH25目標値を設定
心受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る。	がん検診受診者満足度	%	84.0	88.0	中期経営計画のH25目標値を設定
(中河内救命救急センター) 心受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る。	中河内救命救急センター平均在院日数	日	12.0	-	H24目標値(12.8日)及びH24実績見込値(12.2日)を上回る目標値を設定

II. 財務(健全性・採算性)・効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

戦略	成果測定指標	単位	H25目標値	中期計画H25目標値	H25目標値設定の考え方 (数値の根拠)
大阪がん検診センター ①市町村等の更なる適切な検診体制の構築と精度の高い検診を実施する。	検診車の稼働率 (稼働期間/稼働可能日数)	%	71.0	71.0	中期経営計画のH25目標値を設定
心受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る。	総合検診受診者の増	人	11,750	11,250	24年度実績を踏まえ修正値とする。
心受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る。	大阪がん検診センターの正味対産増減額	百万円	▲57	▲57	中期経営計画のH25目標値を設定
(中河内救命救急センター) 心受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る。	中河内救命救急センター一産産村対産比率 (村対産/産産比率)	%	37.0	-	H24目標値(40.8%)及びH24実績見込値(37.6%)を上回る目標値を設定

24年度の経営目標達成状況及び25年度目標設定表

<p>法人経営者の考え方 (平成25年度の課題と重点目標)</p>	<p>・がんは、昭和46年以降、府民の死亡原因の第1位であるが、府民のがん検診受診率は全国で最低レベル（ワースト1～4位）である中、大阪がん循環器病予防センターにおいては、府内全体のがん検診の精度向上に寄与する公的役割を踏まえ、検診機関の少ない市町村や中小企業を中心に、効率的・効果的な検診を実施することにより、検診率の向上に寄与する必要がある。</p> <p>・平成25年度においては、①検診率の稼働率については、引き続き、目標の達成、②乳がん検診受診者数については、女性医師の確保等による目標の達成、③受診者からの検診評価の向上を図るとともに、総合健診受診者の増と経費削減による法人経営の安定化、を目指す。</p> <p>・中河内救命救急センターについては、中河内医療圏を中心に、府民の生命・健康の保持に資するよう、地域医療機関、消防機関等との一層の連携により、救急患者の受入れの促進を図る。</p>
---------------------------------------	--

I. CS(利用者満足度)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

事業項目	達成目標	単位	計画値	実績値	H24目標		H25目標	達成率	H25実績	【H25目標達成のための活動内容】
					計画値	実績値				
(大阪がん循環器病予防センター) ①市町村等の要望に応え検診率の効率的な稼働と精度の高い検診を実施する	乳がん検診受診者数	人	10	21,390	22,400	×	21,906	10	22,400	・女性が受診しやすい体制づくり(女性の医師の確保)。 ・女性放射線技師は23年度末まで4人確保できた。 ・講演会の開催や冊子の配布等による啓発活動の推進。
	精検受診率(年度実績) (肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がんの合計) (精検受信者/要精検受信者数)	%	10	82.8	84.5	×	83.1	10	87.0	・組織型検診システムを利用し、全ての精密検査未受診者に対し個別通知により受診勧奨を行う。 ・市町村及び事業主に対し精密検査結果及び未受診者一覧表や受診勧奨マニュアルを提供し、市町村等の受診勧奨の支援を強化する。
②受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る	がん検診等受診者満足度	%	10	86.3	87.0	×	84.3	10	88.0	・アンケートの内容から受診者が不満と感じているのは、待ち時間が長いことが多いので、検診の流れを分析し、待ち時間を解消することにより、利用者の満足度の向上に繋げる。 ・職員の後進研修を実施し、診察、検診等の十分な説明により、安心して受診できる体制を構築。 ・待合ロビーにコンシェルジュを引き続き配置し利用者案内を行う。
					12.6					
(中河内救命救急センター) ③重症救急患者の入院に即応できる体制づくり	中河内救命救急センター平均在院日数	日	20	12.6	12.2			20	12.0	・専任看護師を配置した地域連携型で、中河内地域の医療機関との情報交換を密にし、中河内地域医療連携を強化する。 ・覆られた病床(特にICUベッド)の有効活用を図るため、最適な治療を進め、ベッドコントロールを強化する。

II. 財務(健全性・採算性)・効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

(大阪がん循環器病予防センター) ①市町村等の要望に応え検診率の効率的な稼働と精度の高い検診を実施する。	検診率の稼働率 (延検診回数/延検診可能日数)	%	10	66.6	67.0		67.0	10	71.0	開院期を中心に ・検診機関が不足している市町村の集団検診の充実。 ・圏域検診受診率が低い中小企業に対し、保険者である協会けんぽ等と連携した単検診の拡大。 ・組織型検診システムの推進のための市町村説明会の場等を活用した、新たな受診者確保。
	総合健診受診者の増	人	15	7,503	11,000		11,708	15	11,750	・トップが直接、市町村、企業等に出向き、営業活動を行うことにより新たな受診者の増を図る。
②受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る	大阪がん循環器病予防センターの正味財産増減額	百万円	15	▲58	▲60		▲64	15	▲57	・検診受診率が低い中小企業に対し、保険者である協会健康などと連携して単検診の拡大を図る。 ・循環器健診のみの顧客に対しがん検診をセットで受診してもらう。 ・25年度を目標に検診単価の改定を行う。
	中河内救命救急センター医療材料費比率 (材料費/医療収益)	%	10	34.8	40.8		37.5	10	37.0	・診療材料は、SPD(消費私方式)導入により、更なる材料費の軽減に努める。 ・使用用途に応じた、より安価な医療材料への切り替えを推進する。 ・保険請求できる項目を洗い出し、収支改善を図る。

【凡例】  
 ・☆はH25からの新規項目  
 ・×は目標値未達成  
 ・↓は前年度実績比マイナスの目標値  
 ・( )はH25から目標とするため、参考として記入した実績値

法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団
-----	------------------

### CS調査の実施概要

○平成24年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
「診察、健診等の十分な説明」について満足度を質問した	受付で調査票を配布し、受診者が自書のうえ回収箱に投かん。	・施設検診受診者 ・市町村等での車検診受診者	1,596人	平成24年10月

### CS調査実施後の改善事例

・アンケート結果を職員に周知し、各所属において満足していない原因について認識するとともに改善方針について討議を行った。その結果、すぐにできる行動として、1階案内を1名増員し、来客を惑わせることなく積極的に案内することと、各フロアにおいて、看護師等が顧客を案内する体制を構築した。

○平成25年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
「診察、健診等の十分な説明」についての満足度を質問する。	受付で調査票を配布し、受診者が自書のうえ回収箱に投かん。	・施設検診受診者 ・市町村等での車検診受診者	約1,500人	平成25年10月

・CS調査 平成25年度目標(再掲)

戦略目標	成果測定指標	単位	H23実績	H24目標	H25目標値	H25目標値設定の考え方 (数値の根拠)
				実績(見込)		
受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る	がん検診等受診者満足度	%	86.3	87.0	88.0	中期経営計画のH25目標値を設定
				84.3		

健診受診者の皆様へ

大阪がん循環器病予防センターの健診を受診していただきありがとうございます。  
 本日、今後の健診の参考とするためにアンケートを実施させていただいております。  
 ご回答につきましては全て統計的に処理し、他の目的に使用することは一切ございません。  
 ご協力の程、よろしくお願いいたします。

平成24年10月 大阪がん循環器病予防センター

●該当する番号に○印を付してください。

- ① 年齢
- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 10歳～19歳 | 2. 20歳～29歳 | 3. 30歳～39歳 |
| 4. 40歳～49歳 | 5. 50歳～59歳 | 6. 60歳～69歳 |
| 7. 70歳以上   |            |            |
- ② 性別
- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|
- ③ 受診された健診 (複数選択可)
- |               |                |                       |
|---------------|----------------|-----------------------|
| 1. 胃がん検診      | 2. 大腸がん検診      | 3. 乳がん検診              |
| 4. 子宮がん検診     | 5. 肺がん検診       | 6. 定期健康診断・人間ドック・循環器健診 |
| 7. 精密検査(胃がん)  | 8. 精密検査(大腸がん)  |                       |
| 9. 精密検査(乳がん)  | 10. 精密検査(子宮がん) |                       |
| 11. 精密検査(肺がん) | 12. その他 ( )    |                       |
- ④ 受診された理由 (複数選択可)
1. 大阪がん循環器病予防センターの評判が良いから
  2. 大阪がん循環器病予防センターの検診精度が高いから
  3. 集団健診と精密検査が同一機関で実施できるから
  4. 大阪がん循環器病予防センタースタッフ（職員）の対応が良いから
  5. 安い価格で受診できるから
  6. 毎年受診しているから
  7. 家族・知人ががん患者がいたため、又は家族・知人から勧められたため
  8. 大阪がん循環器病予防センターのホームページをみて
  9. 大阪がん循環器病予防センターの交通の便が良いから
  10. 市町村の住民健診で指定されているから
  11. 企業（団体）が指定しているから
  12. 他の医療機関等からの紹介
  13. その他 ( )
- ⑤ 健診スタッフ（職員）の言動・態度はいかがでしたか？
1. 満足
  2. ほぼ満足
  3. 普通
  4. やや不満
  5. 不満
  6. 分からない

※上記で、「ほぼ満足」、「普通」と答えられた方にお聞きします。「満足」との違いをご記入下さい。。

※上記で、「やや不満」、「不満」と答えられた方にお聞きします。問題点、改善点など具体的にご記入下さい。

→ 裏面にも質問がありますので、  
ご協力をお願い致します。

⑥ 診察、健診等の説明は十分でしたか？

1. 満足
2. ほぼ満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満
6. 分からない

※上記で、「ほぼ満足」、「普通」と答えられた方にお聞きします。「満足」との違いをご記入下さい。

※上記で、「やや不満」、「不満」と答えられた方にお聞きします。問題点、改善点など具体的にご記入下さい。

⑦ 健診に要した時間はいかがでしたか？

1. 思ったより早く受診できた
2. 普通
3. 思った以上に時間がかかった

⑧ 次回も大阪がん循環器病予防センターの健診を受診したいとお考えですか？

1. はい
2. いいえ (理由 )
3. 分からない

⑨ 大阪がん循環器病予防センターに対するご要望、改善点について、ご自由にお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。  
回収箱にお入れくださるようお願いいたします。

## 【目標値未達成の要因について】

法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団																		
24年度の 成果測定指標	乳がん検診受診者数																		
24年度の目標値	22,400人																		
24年度目標の達成状況 (見込)	21,906人																		
未達成の要因	<p>・女性医師の確保により、デジタル検診車の稼働回数を増やすこととしたが、派遣元の大学医学部との話し合いで月2回程度しか車検診に従事していただくことができず検診車の稼働を増加させることができなかった。</p> <p>また、受診者数が比較的多かったA市において、1回あたりの受診者数及び検診回数が大幅に減少し、23年度実績（21,974人）と同水準に留まった。</p> <p style="text-align: right;">(A市の状況)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数</th> <th>回数</th> <th>1回あたり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>1,453人</td> <td>36</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>574人</td> <td>21</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>24年度見込</td> <td>527人</td> <td>16</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数	回数	1回あたり	22年度	1,453人	36	40	23年度	574人	21	27	24年度見込	527人	16	33
	受診者数	回数	1回あたり																
22年度	1,453人	36	40																
23年度	574人	21	27																
24年度見込	527人	16	33																
今後の改善方策	<p>・理事長、担当部長が大学に出向き、大学医学部等に依頼するほか、雑誌広告の方法も使って、当面月3回程度車検診に出務していただく女性医師の確保に努める。</p> <p>・また、1回あたりの受診者数及び検診回数が大幅に減少した市の検診回数については、他市等に日程を振り分けるなど日程調整などによる改善を行う。</p>																		

## 【目標値未達成の要因について】

法人名	(公財) 大阪府保健医療財団
24年度の成果測定指標	精検受診率(年度実績)
24年度の目標値	84.5%
24年度目標の達成状況 (見込)	83.1%
未達成の要因	<p>当センターにおける精検受診率は国の許容値(乳がん検診は80%以上、それ以外は70%以上)を満たしている。しかし、大腸がん検診の受診率が74.5%にとどまり、全体の受診率は前年度82.8%より伸びたものの、平成24年の目標値である84.5%を達成することができなかった。</p> <p>精検受診率を達成できなかった要因は、大腸がんについて、当センターでの精検数に限りがあり、当センターで全体の6.8%しか実施できず、未受診者に対する受診勧奨の徹底ができなかったこと、精検結果の把握が困難であったことである。</p> <p>また、職域での精検受診率が胃がん検診80.7%、肺がん検診80.8%と地域ほど伸びなかったことが考えられる。</p>
今後の改善方策	<p>・大腸がん検診の精検受診率は地域77.5%、職域が62.8%であるので、大腸がん精検受診率の向上のための対策として、</p> <p>① 精検受診率の低い市町村に対しては、大阪府から受託している精度管理センターの事業を通じ、要因の分析を行うと共に受診率向上のための支援を行う。(啓発冊子の送付・受診者への啓発ツールの作成)</p> <p>② 大腸がん検診において、施設検診受診者を対象に要精密検診者の結果説明を実施し、希望精検機関に紹介することで、精検受診を促し、精検結果が把握しやすい体制を整える。</p> <p>③ 職域検診における精検未受診者について、検診受診時からの、がん検診に対する知識の普及を図る。</p>



## 【目標値未達成の要因について】

法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団
24年度の 成果測定指標	利用者満足度の向上
24年度の目標値	87.0
24年度目標の達成状況 (見込)	84.3
未達成の要因	<p>平成 24 年3月の大阪府立健康科学センターの廃止に伴って大阪がん予防検診センターと統合し、4 月から新しく大阪がん循環器病予防センターとして発足した。統合に伴い、旧健康科学センターが実施していた循環器健診受診団体約 50 団体、約 3,000 人が新センターを利用することとなった。</p> <p>そのため、1 日の利用者数が増加し、業務が繁忙となるとともに、受診者の待ち時間の増加を招き、診察、検診等における説明に余り時間を割くことができず、受診者の満足度が低下する状況となった。</p>
今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの内容から受診者が不満と感じているのは、待ち時間が長いことが多いので、健診の流れを分析し、待ち時間を解消することにより、利用者の満足度の向上に繋げる。</li> <li>・受診者が来られた時に迷わないよう、1階の受付担当を1名増員し、積極的に案内をする。</li> <li>・各フロアに案内担当の看護師等を配置し、的確に受診できる体制を作る。</li> <li>・その他の課題については、担当部署で討議を行い、一つ一つの具体的対策を講ずることとした。</li> </ul>

## 【目標値未達成の要因について】

法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団		
24年度の 成果測定指標	大阪がん循環器病予防センターの正味財産増減額		
24年度の目標値	△60百万円		
24年度目標の達成状況 (見込)	△64百万円		
未達成の要因	<p>胃がんや乳がんの車検診で収益を伸ばすことができなかったが、総合健診では予定以上の収益増が図れたため、少額ではあるが収益増となった。</p> <p>しかし、費用面では、監査委員の指摘や公益法人会計基準を考慮し、今年度は新たに退職給付引当金を23,300千円計上することとしたため費用が大きく増加し、赤字増の原因となった。</p>		
	がん予防検診事業収益		
	24年度当初予算	24年度決算(見込)	増減
	779,870	785,420	+5,550
	当期一般正味財産増減額		
	24年度当初予算	24年度決算(見込)	増減
△59,974	△63,640	△3,666	
(退職引当をしない場合)	△40,340	+19,634	
今後の改善方策	<p>25年度は総合健診でさらに収益増を図る。</p> <p>また費用面では、委託契約の見直し等により経費の縮減を図り、退職給付引当金を引き当てても中期計画の目標値である△57百万円を達成する。</p>		